

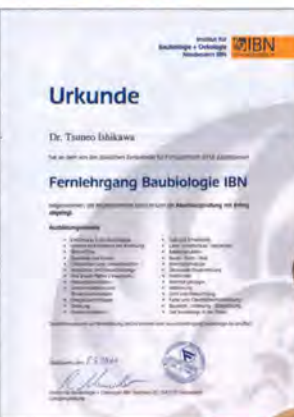
日本バウビオロギー研究会(BIJ、事務局・群馬県前橋市)は今年10月、バウビオロギー(建築生物学)を体系的に学ぶ通信講座を開講。本格的な専門家の養成に乗り出す。

ドイツの研究機関バウビオロギー・エコーロジック研究所ノイホイエルン(IBN)が30年来実施している教育制度を、ライセンス契約にもとづき日本で実施するもの。通信講座の修了者には「バウビオロギー(建築生物学者BIJ)」の資格が与えられる。

同制度はイタリア、スペインでも行われ、ドイツを除くと日本が3カ国目。現在までに、ドイツでは約6000人の有資格者を輩出しているという。

**注目の新資格**

**「バウビオロギーBIJ」**



資格者に発行される認定証。石川氏はIBNの通信講座の過程を経て、日本人初のバウビオロギーBIJになった。



日本バウビオロギー研究会  
石川恒夫代表  
(前橋工科大学大学院准教授・バウビオロギーBIJ)

第1期の開講は今年10月1日で、定員は30人。以降、半年ごと(4月、10月)に開講し、受講者は2年間のコースを学ぶ。コースは3クールから成り、1クールは8カ月、1カ月に1冊ずつ送られてくる教材(テキスト)を読み込み、自習すること

とが基本だ。が、テキスト巻末に確認問題が添付され、これを各月の第1週に提出すれば添削指導が受けられる。

また、それぞれのクールの最終週末(土日)にはスクーリング(オープン講座)が開かれ、2年

**「通信講座バウビオロギーBIJ」のテキスト一覧**

- 1 バウビオロギー入門
- 2 環境と住まいの立地
- 3 居住環境
- 4 建築工法
- 5 建材と部位のエコ取支
- 6 木材防霉、住まいの害虫、菌
- 7 生物学的建築材料学/建築の物性
- 8 暖房設備
- 9 給排水設備と節水の理念
- 10 省エネコンセプト
- 11 放射(電磁波)
- 12 電気設備
- 13 空気と汚染物質
- 14 騒音—遮音—建築の音響
- 15 建築構造
- 16 空間—フォルム—尺度
- 17 居住心理学
- 18 エコソーシャルな土地利用
- 19 オープンスペース
- 20 居住生理学+住まいの安全
- 21 家具
- 22 光と照明
- 23 塗料・色彩と表面処理
- 24 建築法規—条例—品質検査  
\*日本語版は当面無し
- 25 バウビオロギー  
【建築生物学者】の実務

**バウビオロギー通信講座10月にスタート  
幅広い角度で住まいを見る目養う**

受講者には1カ月に1冊ずつ上記のテキストが配布される

スタッフなど多様な分野からの参加を呼びかける。最終日の筆記試験は正解・不正解をチェックするのではなく、建築に対する考え方やまなざしを問うことを考えている。「住まうという行為は、ある一つの専門知識で完結するものではない。理解を深めるには自分で考えることが重要。その入り口として、通信講座を活用してほしい」と話す。

第1期の受講申し込みは7月1日から、受講料は24万円(1クール8万円×3クール)。18歳以上であれば誰でも受講でき、同研究会会員や学生、夫婦での受講、1企業からの複数受講には割引がある。詳細はHP: <http://www.bau-bio-logie.jp> に掲載。

**この人に聞く**

**住まいを住まう人の手に取り戻す  
自ら考え、発見した先にライフスタイル提案**

「バウビオロギーは「家とは何か」という根本を問う学問。その対象領域は、人の生命・人生に関わるネットワークのすべてといっても過言ではありません。知り尽くすことは不可能に近いけれど、下げるかばかりに目がいつてしまふ。省エネは確かミッションですが、家の要諦はそこにとどまりません。常に自分の知識や行動に疑問を抱き、多面的にもその目を見つめ、ガイド役として、通信講座

「これは住まうという行為を、住まう人の手に取り戻すことが必要です。『家とは何か』という問いは、自分の住まい方、生き方を問うことでもあるのです。このことは、住宅ビジネスとも無関係ではありません。なぜなら自分の生き方を発見することが、まさにライフスタイル提案だからです。その提案力をつけるうえで、バウビオロギー通信講座は格好の教材になるでしょう。」(談)

も、学ぶべきは知り得た知識のバランスの取り方、バランスを取る姿勢にあります。

私たちの知識や行動は、とかく偏りがち。たとえば「断熱」一つとっても、性能数値をいかに

バウビオロギー通信講座を活用してほしいと思

座のテキストは、マニユアルやノウハウとは違います。詰め込み式で学ぶのではなく、むしろ、果たしてこの記述は正しいのかと、疑問符をつけて考えることが大切。それ